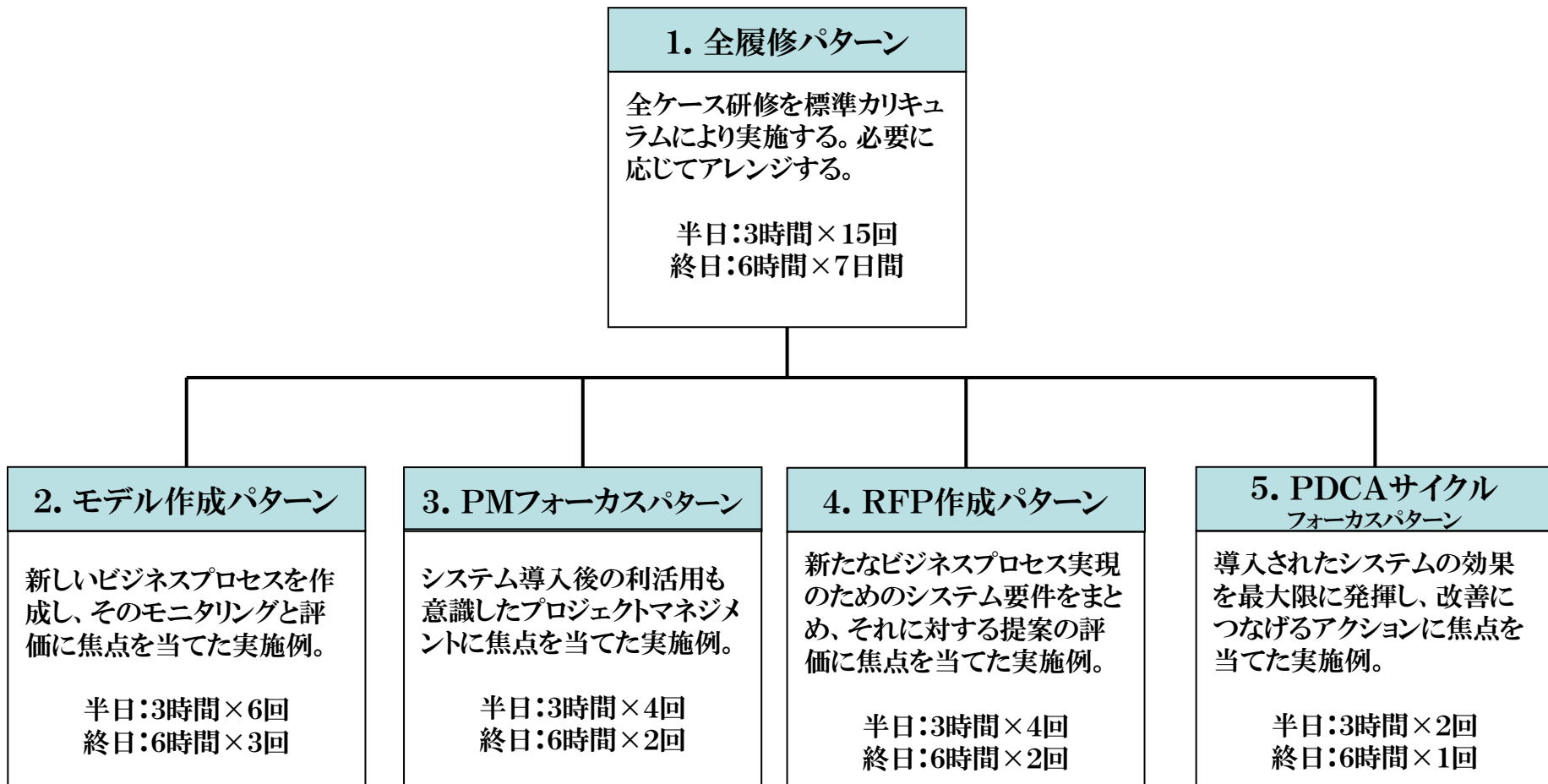


# CIO育成研修・実践力強化版 活用パターン

第1講座から第15講座までの各講座標準時間は2.5～3時間としている。  
ケース教材を活用して以下のように工夫し、アレンジして実施できる。



# 1. 全履修パターン(フルセット・パターン)

**【パターン】**

第1講座から第15講座までをケース研修編通りに実施する。テキスト編の内容については、ケース研修の補足資料として取り扱う他は、原則として研修時には取り上げない。

**【育成目的】**

経営者の意思を把握して、新たなビジネスプロセスとその実現に向けたIT化企画書を作成し、機能を明確に確認した上で、導入プロジェクトを効果的に推進する。また、適切な評価を行い、更なる改善に結び付けることができる人材を育成する。

**【受講者像】**

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。ただし、経営者の場合は経営者研修を受講済みであることが望ましい。

**【開催時間・日数】**

各講座時間の運営時間を3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。  
研修開催期間は、終日7日間、半日(または夜間)14日間とする。

**【留意点】** 受講者の目的、レベルを考慮し、必要な補助教材の付加、演習を説明に切替えなどの工夫をすること。

| 半日   | 終日  | 講座名       | テーマ                       | 演習内容  |
|------|-----|-----------|---------------------------|---|
| 第1回  |     | オリエンテーション | C I O 機能概要                | ① C I O の周辺環境<br>② C I O の役割と求められるスキル<br>③ C I O の基本機能                  |
| 第2回  | 第1回 | 第1講座      | 経営戦略の把握                   | ① 経営戦略の把握<br>② 経営戦略の抽出<br>③ 経営戦略の策定                                     |
| 第3回  |     | 第2講座      | I T 戦略策定                  | ① I T 戦略策定の要件<br>② I T 戦略策定の作成<br>③ I T 戦略策定の評価                         |
| 第4回  | 第2回 | 第3講座      | プロジェクト・マネジメント ( 1 )       | ① プロジェクト・マネジメントの定義<br>② プロジェクト・マネジメントの計画<br>③ プロジェクト・マネジメントの実行          |
| 第5回  |     | 第4講座      | プロジェクト・マネジメント ( 2 )       | ① プロジェクト・マネジメントのモニタリング<br>② プロジェクト・マネジメントの報告<br>③ プロジェクト・マネジメントの閉鎖      |
| 第6回  | 第3回 | 第5講座      | ビジネス・システム企画と現状の把握         | ① ビジネス・システム企画の把握<br>② ビジネス・システム企画の策定<br>③ ビジネス・システム企画の実行                |
| 第7回  |     | 第6講座      | 新ビジネス連携図                  | ① 新ビジネス連携図の策定<br>② 新ビジネス連携図の実行<br>③ 新ビジネス連携図の評価                         |
| 第8回  | 第4回 | 第7講座      | ビジネス指標のモニタリングとビジネス機能構成表   | ① ビジネス指標のモニタリング<br>② ビジネス指標の報告<br>③ ビジネス指標の評価                           |
| 第9回  |     | 第8講座      | 新業務フローと新機能情報関連図           | ① 新業務フローの策定<br>② 新業務フローの実行<br>③ 新業務フローの評価                               |
| 第10回 | 第5回 | 第9講座      | 新業務ルールと I T 指標のモニタリング     | ① 新業務ルールの策定<br>② 新業務ルールの実行<br>③ 新業務ルールの評価                               |
| 第11回 |     | 第10講座     | I T ベンダの選定 ( 提案依頼書、提案評価 ) | ① I T ベンダの選定の要件<br>② I T ベンダの選定の作成<br>③ I T ベンダの選定の評価                   |
| 第12回 | 第6回 | 第11講座     | 新システム機能の検討                | ① 新システム機能の要件<br>② 新システム機能の策定<br>③ 新システム機能の実行                            |
| 第13回 |     | 第12講座     | 業務移行とシステム移行 ( 受入 )        | ① 業務移行とシステム移行の要件<br>② 業務移行とシステム移行の策定<br>③ 業務移行とシステム移行の実行                |
| 第14回 | 第7回 | 第13講座     | セキュリティとリスクマネジメント          | ① セキュリティとリスクマネジメントの要件<br>② セキュリティとリスクマネジメントの策定<br>③ セキュリティとリスクマネジメントの実行 |
| 第15回 |     | 第14講座     | 情報リテラシー向上策と効果特定、まとめ       | ① 情報リテラシー向上策の策定<br>② 情報リテラシー向上策の実行<br>③ 情報リテラシー向上策の評価                   |

## 2. モデル作成パターン(テーマフォーカスパターン)

### 【パターン】

新モデル作成を中心に展開するパターン。第1講座から第4講座演習2までを概説し、第4講座演習3「IT化目標定義書」を解説講義の確認演習として実施する。ゴールは、第9講座演習3「IT指標のモニタリング」に設定する。(12講座として実施)

### 【育成目的】

自身で作成したIT化企画書を踏まえ、新たなビジネスプロセスを具現化し、基準設定とモニタリングを行いながら、効果的な導入を推進できる人材を育成する。

### 【受講者像】

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。ただし、経営者研修を受講済みであることが望ましい。

### 【開催時間・日数】

各講座時間の運営時間を3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。  
研修開催期間は、終日3日間、半日(または夜間)6日間とする。

### 【留意点】

受講者の目的、レベルを考慮し、必要と思われる補助教材の付加、演習を講義で代用などの工夫をすること。

|      | 9:30~12:30   | 13:30~16:30                           | 備考 |
|------|--|---------------------------------------|----|
| 第1日目 | 【第1~4講座・演習2】(講義)<br>経営戦略把握、IT戦略策定、PM、リスク管理<br>【第4講座・演習3】(演習)<br>IT化目標定義書 | 【第5講座】(演習)<br>ビジネス・システム企画と現状の把握       |    |
| 第2日目 | 【第6講座】(演習)<br>新ビジネス連携図   | 【第7講座】(演習)<br>ビジネス指標のモニタリングとビジネス機能構成表 |    |
| 第3日目 | 【第8講座】(演習)<br>新業務フローと新機能情報関連図  | 【第9講座】(演習)<br>新業務ルールとIT指標のモニタリング      |    |

### 3. PMフォーカスパターン(テーマフォーカスパターン)

【パターン】

システム導入後の利活用時の効果創出を意識したプロジェクトマネジメントについて、第1講座から第4講座までを実施する。

【育成目的】

信頼性を確保し、事業に効果を生み出したシステムを実現するためのプロジェクトマネジメントができる人材を育成する。

【受講者像】

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。

【開催時間・日数】

各講座時間の運営時間は3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。

研修開催期間は、終日2日間、半日(または夜間)4日間とする。

【留意点】

プロジェクトマネジメントの概説について詳解する場合は、PMBOK®等を利用して補足すること。

プロジェクトの成果物については、受講生の背景や目的に応じて、適宜、サンプルを追加して補足すること。

|      | 9:30~12:30  | 13:30~16:30  | 備考 |
|------|---|--|----|
| 第1日目 | 【第1講座】<br>経営戦略の把握   | 【第2講座】<br>IT戦略策定   |    |
| 第2日目 | 【第3講座】<br>プロジェクト・マネジメント(1)<br>①プロジェクトの立ち上げとステークホルダー<br>②スケジュール策定<br>③プロジェクトの成果物定義 | 【第4講座】<br>プロジェクト・マネジメント(2)<br>①プロジェクトの進捗管理<br>②リスク計画と管理<br>③IT化目標定義書 |    |

## 4. RFP作成パターン(テーマフォーカスパターン)

### 【パターン】

実現したい機能の理解と、システム要件のまとめ、提案書の評価を中心に構成するパターン。

### 【育成目的】

新たなビジネスプロセス実現のためのシステム要件を、プロジェクト推進責任者として、社員、外注先も含むステークホルダー全員に理解できるような表現し、提案書を適切に評価する提案評価軸を作成できる人材を育成する。

### 【受講者像】

ITをビジネスに活用する責任者または経営者。

### 【開催時間・日数】

各講座時間の運営時間は3時間(夜間開催の場合は2.5時間程度)と設定する。

研修開催期間は、終日2日間、半日(または夜間)4日間とする。

### 【留意点】

第1講座から第4講座演習2までを0.7講座分の講義にショートカットする。第4講座演習3「IT化目標定義書」を0.3講座分の演習として採用する。第5講座から第9講座までを2講座分の講義と演習として展開する。第10講座をゴールとして設定する。第10講座をゆっくりと2講座分の時間で展開してもよい。

|      | 9:30~12:30   | 13:30~16:30  | 備考 |
|------|--|--|----|
| 第1日目 | 【第1~4講座・演習2】(講義)<br>経営戦略把握、IT戦略策定、PM、リスク管理<br>【第4講座・演習3】(演習)<br>IT化目標定義書           | (講義と演習)<br>【第5講座】 ビジネス・システム企画と現状の把握<br>【第6講座】 新ビジネス連携図<br>【第7講座】 ビジネス指標のモニタリング |    |
| 第2日目 | (講義と演習)<br>【第7講座】 ビジネス機能構成表<br>【第8講座】 新業務フローと新機能情報関連図<br>【第9講座】 新業務ルールとIT指標のモニタリング | 【第10講座】(演習)<br>ITベンダの選定(提案依頼書、提案評価)  |    |

## 5. PDCAサイクルフォーカスパターン(テーマフォーカスパターン)

### 【パターン】

導入されたシステムの効果を確認し、改善につなげるアクションに結び付けることに内容を絞ったパターン。

### 【育成目的】

戦略、計画、導入という一連の流れを把握して、システム利活用の効果を最大限に発揮できる仕組みを構築し、効果評価を踏まえて改善を計画できる人材を育成する。

### 【受講者像】

IT活用を目指す経営者、またはビジネスにITを活用する責任者。

### 【開催期間】

研修開催期間は、終日1日間、半日(または夜間)2日間とする。

### 【留意点】

受講者の目的、レベルを考慮し、必要と思われる補助教材を付加すること。

|      | 9:30~12:30   | 13:30~16:30   | 備考 |
|------|--|---|----|
| 第1日目 | <b>【第13講座】</b><br>セキュリティとリスクマネジメント<br>①情報セキュリティ<br>②リスクマネジメント<br>③個人情報保護 | <b>【第14講座】</b><br>情報リテラシー向上策と効果特定、まとめ<br>①情報リテラシー向上策<br>②効果測定<br>③まとめ |    |